

べつながり

笑顔ひろがり

世界へはばたく

学校だより

ははましりついいだきた 横浜市立飯田北いちょう小学校 れいわ ねんど がつごう 令和7年度 5月号 かわるはか にちはっこう

こころ つばさ ひろ **心 に 翼 を広げて**

Dang rộng đôi cánh trong tâm hồn

展开心灵的翅膀

こうちょうさいとう ようじ校長齋藤 容二

新年度も一月が過ぎます。 先日 行われた授業 参観や学校説明会、懇談会にはたくさんの保護者の皆さんにご参加いただき、ありがとうございました。 新しい学年になって意気込む子どもたちや教賞の様子が伝わったかと思います。

節下に掲示された子どもたちの「がんばりたいこと」には、「かけ 算九九をがんばりたい」「都道府 覚を覚えたい」などの学習内容のことや、「好き嫌いをなくしたい」「草寝草起きをがんばりたい」「友達と仲良くしたい」など生活面のことが書かれています。 学年が上がると、「どのように 行いたいか」という首分首身の取組方を意識しためあても見られます。 取組や成果が楽しみです。



じどうもんまに 児童門横のシバザクラ まいとし はな かい かた (毎年、「みどりと花の会」の方と ねんせい う 6年生とで植えています)

類、学校の近く、畑の間の道を歩いていると、鳥のさえずりが聞こえてきます。ヒバリ(雲雀)です。空を見り上げてみますが、すぐには見つかりません。少し間りを探してみると、激しく翼をはばたかせながらさえずる姿を見ることができます。他の鳥のように、風に乗って悠々と飛んだり餌を探してあちこち飛び回ったりせず、頭上数十メートルの空中に営まりながらさえずり続けているのです。調べてみると、繁殖期である春、雄のヒバリが縄張りを崇すために空中でさえずるとのことでした。ヒバリは生きるために必死に飛び、さえずっていることを知り、さらにヒバリの姿を見ることが好きになりました。

「翼を広げて自分が空を飛んでいるように歌いたい」

「鬱がかなうよう頽ඁ෯して歌いたい」

「『悲しみのない自由な空へ』を大切な気持ちで歌いたい」

など思いをもち、歌唱に取り組んでいました。年齢を問わず、歯や地域を問わず歌われ続けていることは、この ・ のメロディーや歌詞に、人の心に響き、希望や元気を与えてくれる力があるからではないかと感じます。 6年生の、 一 への思いが伸びやかに、表現された歌声が楽しみです。

覧によって翼や鳴きだは異なり、飛びだもそれぞれです。人によっても、簡い導かべる翼や大空の様子、質らがはばたく変も異なっていることでしょう。どの人の心の中にもある「~なりたい」「~なるといいな」という意いや顔いが、心の中で翼となって首曲に大きく広がっていくこと、そして、首標や夢に向かってジャンプしたりチャレンジしたりすることへつながっていくことを願っています。